

## 国語科における区立図書館・学校図書館の活用

### (1) 指導計画への図書館利用の位置付け

本校では、国語科における図書館利用を、年間計画に位置付けている。そして、単元で身に付けさせたい能力を明確にした上で、次に示すような活用をしている。(①)

また、その単元での目標を達成するために、並行して図書利用指導を低・中・高学年で計画を立てて指導を行っている。(②)

なお、次の実践事例で述べる学校図書館支援員とは、区立図書館による学校支援モデル事業で、南田中図書館より派遣されている司書のことを示している。

#### ①一単元の学習の流れにおける図書館利用

一単元の「第1次」「第2次」「第3次」における図書館利用では、次のような活動が考えられる。

第1次	第2次	第3次
<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ</li> <li>・ブックトーク</li> <li>・ストーリーテリング</li> <li>・本の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・並行読み</li> <li>・比べ読み</li> <li>・調べ読み</li> <li>・読み聞かせ</li> <li>・ブックトーク</li> <li>・本の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み広げ（同じ作者の他の作品、同じテーマの他の作品、シリーズ作品）</li> <li>・児童による読み聞かせ</li> <li>・児童によるブックトーク</li> <li>・児童によるストーリーテリング</li> <li>・児童による本の紹介</li> </ul>

### ◆第1次における図書館利用例

#### 【実践事例 特別支援学級（みなみん学級） 「てぶくろ」】

「お話の大体の内容を理解する」というねらいで学校図書館支援員による「てぶくろ」の読み聞かせを第1時で行った。

そして、単元の最後には、児童が大好きな「劇遊び・動作化」に取り組むため、第2時には、教師や学校図書館支援員による「てぶくろ」の劇を行った。

この取組により、児童の意欲が高まり、授業の始まりには、自ら進んで教科書を用意したり、積極的に音読をしたりする姿が見られた。



教師と学校図書館支援員による劇

#### 【実践事例 第4学年 本と友達になろう「白いぼうし」】

第1次では、第3次で行う音読発表会に向けてのモデルを、教師と学校図書館支援員で示した。

また、第3次の始めには、音読発表会で読む作品を選ぶために、学校図書館支援員による、あまきみこの作品（「車の色は空の色」シリーズなど松井さんが登場する物語）のブックトークを行った。

音読発表会のモデルを示したことにより、単元の最後に行う発表会のイメージができ、単元を通して意欲的に音読の学習を進めることができた。



教師と学校図書館支援員による読み聞かせ

## ◆第2次における図書館利用例

【実践事例 第6学年 自分の体験と重ねて読み、感想を書こう「カレーライス」】

第1次は、読書への入り口の場面とし「カレーライス」の作者である重松清の作品をブックトークで児童に紹介をした。

第2次では、同年代の人物が描かれた作品を用意して、本の紹介をする活動を行った。

また、教材の題名にもなっている「カレーライス」の役割と、そこから分かる主人公の心情についてまとめる学習の積み重ねが生かされ、「本の紹介」では読みとった内容を友達に伝える力の向上が見られた。



児童によるブックトーク

【実践事例 第1学年 本との出会いをひろげよう「ほんはともだち」】

単元全体を通して学校図書館を活用し、第2次において、担任と学校図書館支援員による読み聞かせや絵本の紹介（モデル）を行った。

第2次でモデルを示したことは、単元の最後に行う「お気に入りの絵本の紹介」の参考となった。

この取組により、児童は友達が紹介した絵本に興味をもち、「続きが読みたい」「次はこの絵本が読みたい」と、意欲をもって読書に励むことができた。



児童による絵本の紹介

## ◆第3次における図書館利用例

【実践事例 第3学年 読んで、考えたことを発表しよう「海をかつとばせ」】

単元の最後に「物語の人物と自分を比べて、考えたことを発表しよう」という活動を設定し、「同じくらい年齢の子供が出てくるファンタジー読み物」を区立図書館から集めたり、学校図書館支援員がブックトークを行ったりして、ファンタジーに興味をもたせるようにした。

そして、第3次の最初に、学校図書館で本の選び方のポイントを学校図書館支援員と担任で指導し、目的に応じた本を選べるようにした。

本選びのポイントを生かし、今まで読んだことのないファンタジー読み物を読んだり、友達と交流をしたりして、意欲的に読書に取り組む姿が見られた。



本の選び方を学ぶ

【実践事例 第2学年 お話を読んで感想を書こう「スイミー」】

単元の最後に「自分が読んだ本の主人公に手紙を書こう」という活動を設定し、レオ＝レオニの作品を区立図書館と学校図書館から準備した。

第2次では、教材である「スイミー」を使い「主人公に手紙を書く」という単元を貫く言語活動を行った。

第3次では、その読み方と手紙の書き方を生かし、自分で読んだレオ＝レオニの作品の主人公に、楽しそうに手紙を書く児童の姿が見られた。

この手紙は、みなみたなか“本”ターネット（本の情報掲示板）に本とともに掲示した。



物語の主人公に手紙を書く

②低・中・高学年における年間図書館利用指導

(ア) 読書指導の重点

低学年	中学年	高学年
①読書に対する興味や意欲をもつことができる。 ②本の正しい扱いができる。 ③図書の整理整頓ができる。	①読書量の増大を図り、読書領域を広げることができる。 ②図書の分類配列の概要を知る。 ③辞典や事典の使い方を知る。	①自分で本や資料を選択し、活用することができる。 ②請求番号の意味が分かる。 ③必要な情報を選択し、活用することができる。 ④学校図書館の運営に参加して、意欲的に活動する。

(イ) 低学年の年間図書館利用指導計画

月	主 題	学 習 目 標
4月	図書館のきまり	図書館利用の初歩的なきまりを進んで守ることができる。
5月	本を借りる	書架から本を取り出し、元の場所に返すことができる。 手をきれいに洗って、本をていねいに扱うことができる。
6月	本の並べ方 本を探す	本の並べ方を知り、整頓ができる。 読みたい本を探して、静かに読むことができる。
7月 8月	読書旬間	読みたい本を探して、静かに読むことができる。 読書旬間に取り組み、読書の記録をつけることができる。
9月 10月	本を紹介する	読んだ本で、よい本を友達に紹介することができる。
11月	本で調べる 読書旬間	勉強に役立つ本を見つけ、必要なことをノートに記録することができる。 読書旬間に取り組み、読書の記録をつけることができる。
12月	読書の反省	読書記録を参考にし、幅広い読書をすることができる。
1月	本を紹介する	読んだ本の題名やあらすじをみんなの前で話すことができる。
2月	本で調べる	図鑑の見方を知り、活用することができる。 本で調べたことを絵で表したり、文章で表したりすることができる。
3月	一年間の反省	図書館の利用の仕方について反省することができる。

(ウ) 中学年の年間図書館利用指導計画

月	主 題	学 習 目 標
4月	図書館のきまり	図書館のきまりを知り、進んで守ることができる。
5月	本を大切に	本をていねいに扱い、破損した部分があれば、簡単な修理をすることができる。
6月 7月	本の並べ方 読書旬間	分類法を使って必要な図書を書架から探し出すことができる。 読書旬間に取り組み、読書の記録をつけることができる。
8月 9月	本で調べる	辞典の使い方、図鑑の正しい使い方を知り、活用することができる。
10月 11月	読書旬間 本を紹介する	読書旬間に取り組み、読書の記録をつけることができる。 読んだ本で、よい本を友達に紹介することができる。(本の紹介や読み聞かせなど)
12月	読書の反省	読書記録を参考にし、幅広い読書をすることができる。
1月	資料集め	新聞・雑誌などから必要な記事を切り抜きしたファイル資料の大切さを知り、活用することができる。
2月	調べたことを まとめる	本で調べたことをまとめ、要点を書きとることができる。
3月	一年間の反省	読書、図書館利用について反省することができる。

(エ) 高学年の年間図書館利用指導計画

月	主 題	学 習 目 標
4月	図書館のきまり	図書館のきまりを知り、進んで守ることができる。
5月	図書館の利用 本の分類	図書館の役割を知り、進んで活用することができる。 分類の必要な理由を知り、分類法を使って必要な図書を書架から探し出すことができる。
6月 7月	読書の計画 読書旬間	目標を決め、読書計画を立てることができる。 読書旬間に取り組み、読書の記録をつけることができる。
8月 9月	読書の反省	読書旬間カードをもとに、読書傾向を知り、幅広く計画的な読書をすることができる。
10月	本を紹介する	読んだ本で、よい本を友達や下級生に紹介することができる。(本の紹介やブックトーク、読み聞かせなど)
11月	調べたことを まとめる	本で調べたことをまとめ、要点を書き表すことができる。
12月	読書の反省	読書記録を参考にし、幅広い読書をすることができる。
1月	資料集め	新聞・雑誌などから必要な記事を切り抜いたファイル資料の大切さを知り、活用することができる。
2月	調べたことを まとめる	本で調べたことをまとめ、要点を書きとることができる。
3月	一年間の反省	本の取り扱い、読書計画、図書館利用について反省することができる。